

家保通信

Vol. 37 No. 2 5月号
東京都家畜保健衛生所



令和5年4月27日

かほクイース

R4シーズン（4/21時点）の、家き
さんでのHPAIの発生事例数は？

- ①25事例
- ②84事例
- ③107事例

答えは裏面

高病原性鳥インフルエンザ（HPAI）シーズン中！警戒！

4月7日、北海道千歳市の採卵鶏農場（約31万羽）で発生があり、同市では、関連農場も含めて4例の連続発生となりました。R4シーズンは、過去に未発生 of 県も含めた26道県で発生し、殺処分対象は約1800万羽と過去最多となり、鶏卵供給不足といった報道もされています。また、野鳥の発生も238事例（4月21日時点）と過去最多です。渡り鳥に起因するウイルスの侵入は、国内どこでも起こり、**鶏舎内へのウイルス侵入阻止対策を確実に実施することが、発生リスクの低減に不可欠な状況が続いています。**

ウイルスは目に見えません。まだシーズンは終わっていないため、油断せず、防鳥ネットの破損等がないかを確認し、確実な防疫対策を継続してください。家きさん、野鳥のHPAIに関する最新情報は以下のURL、QRコードから確認できます。

～令和4年度 鳥インフルエンザに関する情報について～ **厳重警戒！**

①農水省HP：<https://www.maff.go.jp/j/syouan/douei/tori/220929.html>

②環境省HP：https://www.env.go.jp/nature/dobutsu/bird_flu/

①



②



さあ、暑熱対策の準備を始めましょう！

3月の平均気温は、過去最高との報道がありました。ここ数年は梅雨前に真夏日となる日もあり、今年も夏の猛暑が予想されます。夏季直前の暑熱対策準備では、資材の入手が難しかったり、送風ファン等の設備不調も想定されるため、暑熱対策の準備は早めに行いましょう。

牛の定期検査のお知らせ

今年度のヨーネ病定期検査の実施区域は、**日野市、稲城市、瑞穂町**です。

令和5年5月から7月に実施予定です。対象の方には別途通知を送付しますのでご確認ください。なお、**他県からの牛の導入や、預託牧場から牛の帰還があった場合には、随時検査を実施しますので、当所までご連絡をお願いします。**

※東京都酪農業協同組合（都酪）を通じて預託に出している場合は、都酪から帰還牛の連絡をいただくため、当所への連絡は不要です。



「定期の報告」提出しましたか？ - 家きんは6/15まで -

牛、水牛、鹿、馬、めん羊、山羊、豚及びいのししについては、提出期限は過ぎました。家きんは6月15日と迫っています。定期報告の提出は、家畜飼養者の義務です。お忘れなく！提出書類はコピー等で、手元に必ず保管しておきましょう。

家畜所有者の区分	報告期限
牛、水牛、鹿、馬、めん羊、山羊、豚及びいのししの所有者	未提出の方は直ちに提出！
鶏、あひる、うずら、きじ、だちょう、ほろほろ鳥及び七面鳥の所有者	令和5年6月15日まで



ハエの防除のポイント



3月23日に農業振興事務所で衛生対策とハエ防除に関する講習会が開催されました。東京都農林総合研究センターのHPに「粘着シートによるサシバエの捕獲」の動画が掲載（以下URL）されています。効果的な粘着シートの使い方がわかりやすく動画で解説されています。ハエ対策は、成虫（ハエ）に目が行きやすいですが、産卵場所、幼虫の生息場所などの生活環に合わせた対策を複合的に行うことが、ハエの発生を抑える重要ポイントとなります。

粘着シートによるサシバエの捕獲(動画)

<https://www.youtube.com/watch?v=ze5s6ED8wOg>



東京都家畜保健衛生業績発表会（HP公開）

当所では、日ごろの業務や調査等の結果を取りまとめた発表会（業績発表会）を毎年開催しています。発表演題をまとめた集録がHP（以下URL）に公開されています。HPには過去数年分の集録を掲載していますので、是非ご覧ください。

家保は試験研究が業務ではありませんが、試験的な試みをした演題もあります。家畜衛生が中心とはなりますが、日頃、生産現場で苦慮されている事案等がありましたら取り組みを検討することもできますので、気軽にご相談ください。


東京都HP:東京都家畜保健衛生業績発表会

<https://www.sangyo-rodo.metro.tokyo.lg.jp/nourin/shoku/animal/eiseijyo/gyouhatu/>



クイズの答え ② 過去最多の事例数です。また、野鳥も最多の238事例（4/21時点）です。R3シーズンは、家きんが①の25事例、野鳥が③の107事例ですので、R4シーズンが際立って多いことがわかります。過去の国内外の発生状況から考えると、ヨーロッパやアジア地域での発生動向が日本国内の発生動向に影響することもあり、国内の野鳥での初確認の情報は、国内侵入の証拠とも考えられるので、注視すべき重要な情報と考えられます。HPAIだけでなく、どんな畜種でも伝染性疾病の国内外の発生状況は、家畜防疫上重要な情報だと考えられます。

発行日 令和5年4月27日

編集発行  東京都家畜保健衛生所

<http://www.sangyo-rodo.metro.tokyo.jp/nourin/shoku/animal/kaho/>

〒190-0182 東京都西多摩郡日の出町
大字平井2759

TEL :042-588-7171

携帯：090-6941-4315(緊急用)

